

## 重点プロジェクトの取組と今後の予定について

## ■ 共創のまちぐらし推進プロジェクト

- まちぐらし事業の検討・実施・検証 市民等の創意工夫によるまちぐらしの実現に向けた取組を進めるための実証実験の実施
- まちを学ぶ場の提供 持続的にまちに関わる人材を育てるための学びと実践の場の提供

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（実績・予定）
<p><b>1 西部地区まちぐらし検討会議の開催</b> [開催実績] 第1回：令和3年9月29日 第2回：令和4年3月25日</p> <p><b>2 函館市西部地区まちぐらしシンポジウムの開催</b> 株式会社はこだて西部まちづくRe-Design（通称：HWeR）の設立を記念して開催。 [開催概要] 日時：令和3年8月28日 場所：五島軒 内容： ・新会社社長挨拶・会社概要説明 ・基調講演 講演者 岡崎正信氏，北原啓司氏 ・パネルディスカッション 「西部地区のまちぐらしを語る」</p> <p><b>3 共創のまちぐらし推進プロジェクト企画会議の開催</b> 共創のまちぐらし推進プロジェクトの本格的な取組を開始するにあたり，プロジェクトの目的や今後の方向性などを検討するため，西部地区まちぐらし検討会議委員をはじめ，地元事業者や市民等の参加により開催。 [開催実績] 第1回：令和3年7月10日 第2回：令和3年10月30日</p> <p><b>4 函館西部まちづくりBARの開催</b> 西部地区で様々な活動に取り組んでいる関係者が参加し，函館西部まちづくりBAR実行委員会の主催（函館市共催）により試行開催。 [開催概要] 日時：令和4年1月17日 場所：港の庵 内容： ・ゲストスピーカーによる話題提供 ・グループに分かれて意見交換</p>	<p><b>1 西部地区まちぐらし検討会議の開催</b> [開催実績] 令和4年10月18日</p> <p><b>2 函館西部まちぐらし共創サロンの開催</b> HWeRおよび函館市西部地域振興協議会と連携し，共創のまちぐらし推進プロジェクトの推進にあたり，地域住民をはじめ，市民やまちづくりに関わる参加者が西部地区の未来を考え，まちぐらしを語り合い，共有する場として開催。 （令和4年7月～令和5年3月 計6回開催）</p> <p><b>3 函館西部まちなか空間利活用プロジェクトの実施</b> 公園などのまちなか空間を舞台に，日常的に住民・市民が集い，観光客もひきつける西部地区ならではの魅力あふれる新たな賑わいと憩いの場の創出を図るため，民間事業者主体のプロジェクトにより多様な空間活用方策の検討・試行を実施。 [開催実績] ・元町マーケット：令和4年7月 ・ナイトマーケット：令和4年8月 ・函館カレーフェス：令和4年10月 ・はこだてひかりのガーデン「元町フェスタ」：令和5年2月</p> <p><b>4 函館西部まちづくりBARの開催</b> 函館西部まちづくりBAR実行委員会の主催（函館市協力）により開催。 [開催概要] 日時：令和5年1月10日 場所：街角NEWCULTURE 内容： ・ゲストスピーカーによる話題提供 ・意見交換</p> <p><b>5 株式会社はこだて西部まちづくRe-Designとの連携</b> 【函館西部地区ニュースの配信】 令和4年5月7日から配信を開始し，西部地区で活躍する「人」にフォーカスを当てながら，様々な活動やイベント，日常の風景等を発信。</p>	<p><b>1 西部地区まちぐらし検討会議の開催</b> [開催実績] 第1回：令和5年5月22日 第2回：令和5年12月8日</p> <p><b>2 函館西部まちぐらし共創サロンの開催</b> HWeRおよび函館市西部地域振興協議会と連携し，高校生など若い世代をはじめ，市民やまちづくりに関わる参加者が西部地区の未来について考え，実践に向けて語り合う場として開催。 [開催概要] 第1回：令和5年7月22日 テーマ「西高生が考える西部地区のまちぐらし」 ・北海道函館西高等学校の生徒による企画発表 ・企画実現に向けたグループワーク 第2回：令和6年1月25日 テーマ「西部地区の空家・空き店舗等の利活用」 ・パネリストによる話題提供および意見交換</p> <p><b>3 新たなまちぐらし活動の創出への支援等</b> 共創サロンで出たアイデアを広く周知し，興味をもつ市民や民間事業者等が主体となって実施する新たなまちづくり活動の創出に向けた支援や協力関係の構築等。 【パブリックスペース利活用促進事業】 地域の賑わい創出と課題の把握を目的に，イベント等の開催および来場者や出店者のニーズ等調査を実施。 ・アンケート調査：令和5年7月17日 ・チャレンジショップ vol.1：令和5年11月1日～4日 ・チャレンジショップ vol.2：令和6年2月9日～11日</p> <p><b>4 株式会社はこだて西部まちづくRe-Designとの連携</b> 【函館西部地区ニュースの配信】 西部地区で活躍する「人」にフォーカスを当てながら，引き続き様々な活動やイベント，日常の風景等を発信。 【関係人口創出事業】 HWeRや地域企業等と連携し，「アート」を切り口に西部地区の魅力を発信。</p>	<p><b>1 西部地区まちぐらし検討会議の開催</b> [開催実績] 第1回：令和6年6月27日 第2～3回：11月以降開催予定</p> <p><b>2 函館西部まちぐらし共創サロンの開催</b> HWeRおよび函館市西部地域振興協議会と連携し，学生など若い世代をはじめ，市民やまちづくりに関わる参加者が西部地区の未来について考え，実践に向けて語り合う場として開催。 [開催概要] 第1回：令和6年5月25日 テーマ「空家等の利活用をめざして」 ・利活用物件や空家等をめぐるまちあるき 第2回：令和6年7月13日（予定） テーマ「持続可能な西部地区のまちぐらし」 ・学生など若い世代による企画発表 ・企画実現に向けたグループワーク</p> <p><b>3 新たなまちぐらし活動の創出への支援等</b> 共創サロンで出たアイデアを広く周知し，興味をもつ市民や民間事業者等が主体となって実施する新たなまちづくり活動の創出に向けた支援や協力関係の構築等。 【西部地区チャレンジショップ】 西部地区での開業支援の一環として，空家や空き店舗での開業を後押しし，開業（予定）者のテスト販売や顧客開拓を目的に開催。 ・チャレンジショップ vol.3：令和6年6月15日～16日</p> <p><b>4 株式会社はこだて西部まちづくRe-Designとの連携</b> 【函館西部地区ニュースの配信】 西部地区で活躍する「人」にフォーカスを当てながら，引き続き様々な活動やイベント，日常の風景等を発信。 【関係人口創出事業】 HWeRや地域企業等と連携し，「アート」を切り口に西部地区の魅力を発信。 ※令和6年度は企画部へ移管し，開催予定。</p>

重点プロジェクトの取組と今後の予定について

■ 既存ストック活性化プロジェクト

- 不動産データベースの構築
- 民間の低未利用不動産等の流動化促進
- 公有の低未利用不動産等の利活用

空地や未接道敷地等（低未利用不動産等）の所在地・規模・権利者等のデータベース化  
 民間実施団体による不動産の取得・仲介等  
 活用策の検討および地区の活性化に向けた積極的な展開

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（実績・予定）
<p><b>1 株式会社はこだて西部まちづくRe-Designの設立</b>                      西部地区ならではの居住と観光が融合したまちづくりを進めるため、令和3年7月に設立し、8月より本格的に事業を開始。                      [会社概要]                      会社名：株式会社はこだて西部まちづくRe-Design                      所在地：函館市元町14-1（国際交流施設1階）                      設立日：令和3年7月29日                      資本金：5,000万円（函館市40%，民間60%）                      事業内容：函館市西部地区におけるまちづくりや地域課題解決に資する不動産の利活用に関する業務 ほか</p> <p><b>2 都市再生推進法人の指定</b>                      都市の再生に必要な公共公益施設の整備等を重点的に実施すべき区域のまちづくりの中核を担う法人（都市再生推進法人）として、HWeRを指定。（指定日：令和3年10月11日）</p> <p><b>3 低未利用不動産等の利活用</b>  <b>【公有不動産再整備活用事業】</b>                      ①大町市有地                      HWeRが地域事業者などと連携し、利活用イベントを開催。                      [開催実績]                      ・ローカルマーケットin大町改良ひろば：令和3年10月23日～24日                      ・大町湯気市：悪天候により中止</p>	<p><b>1 低未利用不動産等の利活用</b>  <b>【公有不動産再整備活用事業】</b>                      ①旧北海道庁函館支庁庁舎                      歴史的建造物である旧北海道庁函館支庁庁舎を、HWeRがリニューアル工事を行い、令和4年8月11日より飲食店としてオープン。                      ②西小・中学校跡地                      民間事業者による西小・中学校跡地の活用のニーズや実現可能性を把握するため、当該地の活用の意思を持つ民間事業者から幅広く意見や提案を求めるサウンディング型市場調査を実施し、令和5年3月に報告書を公表。                      ③大町市有地                      HWeRが地域事業者などと連携し、利活用イベントを開催。                      [開催実績]                      ・STREETのおくの広場計画in大町：令和4年11月6日</p> <p><b>【重点整備街区再整備事業】</b>                      3つの街区を対象に、現地調査や土地・建物所有者との協議等を進め、事業化に向けた検討を実施。</p> <p><b>2 空家等対策および西部地区再整備事業の推進に関する協定締結</b>                      函館市と公益社団法人北海道宅地建物取引業協会函館支部および公益社団法人全日本不動産協会北海道本部が連携・協力し、空家等対策および西部地区再整備事業に取り組むことにより、良好な生活環境の保全および安全で安心なまちづくりを推進するため協定を締結。（締結日：令和4年7月6日）</p>	<p><b>1 低未利用不動産等の利活用</b>  <b>【公有不動産再整備活用事業】</b>                      ①西小・中学校跡地                      西小・中学校跡地の活用方針を決定し、近隣町会等に対して説明会を実施。                      広く事業者から活用提案を受けるため、公募型プロポーザルの実施に向け審査委員会を設置し、審査方法等を決定。                      ②大町市有地                      HWeRが地域事業者などと連携し、利活用イベントを開催。                      [開催実績]                      ・まちなかアウトドア：令和5年7月29日～30日                      ・未知との遭遇：令和5年10月7日～8日                      ・大町GATE：令和5年10月15日                      ・SMALL TOWN MARKET：令和5年10月22日 ※悪天候のため会場変更</p> <p><b>【民有不動産再整備活用事業】</b>                      ①旧大洋漁業函館営業所                      歴史的建造物である旧大洋漁業函館営業所を、HWeRがリニューアル工事を行い、令和5年5月8日よりTOPPANのサテライトオフィスとしてオープン。</p> <p><b>【重点整備街区再整備事業】</b>                      西部地区都市景観形成地域内の土地・建物所有者を対象に、現在の利用状況や今後の活用意向を把握するための調査を実施。売却意向のある土地所有者との協議等を実施し、所有者の理解を得ながら、低未利用不動産の有効活用に向けての調整を適宜実施。</p> <p><b>【参考】西部地区都市景観形成地域内の状況</b>                      ・歴史的建造物の利活用 6件                      ・空家の解体 11件                      ・空地の利活用（新築など） 6件</p>	<p><b>1 低未利用不動産等の利活用</b>  <b>【公有不動産再整備活用事業】</b>                      ①西小・中学校跡地                      活用事業者の募集を公募型プロポーザルにより実施。                      [実施スケジュール]                      募集要項配布：令和6年6月14日                      参加申込書受付：令和6年8月1日～9月30日                      企画提案書受付：令和6年10月28日～11月8日                      第一次審査：令和6年11月下旬                      第二次審査：令和6年12月中旬                      契約候補事業者決定：令和6年12月中旬</p> <p>②大町市有地                      開催内容検討中。</p> <p><b>【民有不動産再整備活用事業】</b>                      歴史的建造物の活用に向けて、所有者と利用者とのマッチングを支援。</p> <p><b>【重点整備街区再整備事業】</b>                      ①所有不明建物等調査支援事業                      公益社団法人北海道宅地建物取引業協会函館支部および公益社団法人全日本不動産協会北海道本部の会員が、顧客の希望により不動産の調査を実施するも所有者が判明しなかった空地・空家について、市が空き家特措法に基づき所有者の調査および接触の支援を試みる。                      試行期間：令和6年6月1日～12月27日</p> <p>②重点整備街区                      売却意向のある土地・建物所有者や相談のあった購入希望者との協議等を実施し、低未利用不動産の有効活用に向けて調整を適宜実施。</p>

重点プロジェクトの取組と今後の予定について

■ 町会活性化プロジェクト

○ 新たな人材との協働による町会活性化の推進 モデル町会と市職員や学生等の新たな人材との協働による町会活性化のためのプロジェクトの実施

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（実績・予定）
<p>1 モデル町会における町会活性化プロジェクトの試行実施</p> <p>弁天町会をモデル町会として、新たな人材・担い手である「函館『荘』プロジェクト」のメンバー、町会および市職員の協働により、勉強会やお楽しみ会などを試行実施し、効果の検証等を実施。</p> <p><b>【弁天町会】</b>                      [勉強会（しゅくだいくらぶ等）]                      大学生による学習サポートの実施                      （令和3年4月・5月 計2回開催）                      [お楽しみ会（スマイルくらぶ等）]                      大学生と子どもの協働による遊びの場の設置                      （令和3年4月～12月 計9回開催）                      [その他]                      公園の花植え（令和3年5月・6月）                      クリスマス会（令和3年12月）                      活動報告会（令和4年1月）</p> <p>2 町会意見交換会の開催</p> <p>西部地区再整備事業基本方針に定める対象地区の町会を対象に、西部地区再整備事業の内容の共有と西部地区のまちづくりにおける地域課題等の認識を深める場として、意見交換会を開催。                      （令和3年11月18日）</p>	<p>1 モデル町会における町会活性化プロジェクトの試行実施</p> <p>令和3年度に引き続き、弁天町会では新たな人材・担い手である「函館『荘』プロジェクト」のメンバー、町会および市職員の協働により、勉強会やお楽しみ会などを実施。</p> <p>また、新たに青柳町会および弥生町会をモデル町会として選定し、役員会や行事などへの参加を通して意見交換を行い、町会や地域の課題を把握したうえで、町会が自ら実施する課題解決に向けた取組に協力。</p> <p><b>【弁天町会】</b>                      [お楽しみ会（スマイルくらぶ）]                      大学生と子どもの協働による遊びの場の設置                      （令和4年6月～令和5年1月 計4回開催）</p> <p><b>【青柳町会】</b>                      [役員会等]                      役員会および定期総会への参加、意見交換                      [行事]                      チャリティバザー（令和4年12月）                      [その他]                      無印良品などによる出張販売（毎月）の視察</p> <p><b>【弥生町会】</b>                      [役員会等]                      役員会や茶話会への参加、意見交換                      [行事]                      ラジオ体操：令和4年7月25日～29日                      納涼祭：令和4年8月21日                      敬老祝賀会：令和4年10月9日                      クリスマス会：令和4年12月18日                      [函館西部地区まちぐらし相談]                      NPO法人はこだて街なかプロジェクト主催で西部地域の住民や土地・建物所有者を対象とした相談会を実施（令和4年9月10日）</p> <p><b>【3町会】</b>                      町会役員による函館西部まちぐらし共創サロンへの参加や函館西部地区ニュースへの出演など</p>	<p>1 モデル町会における町会活性化プロジェクトの試行実施</p> <p>令和4年度に引き続き、青柳町会および弥生町会をモデル町会として選定し、役員会や行事などへの参加を通して意見交換を行い、町会や地域の課題を把握したうえで、町会が自ら実施する課題解決に向けた取組に協力。</p> <p>また、新たな人材・担い手として、若者が町会・地域コミュニティ活動に参加しやすい環境・仕組づくりなどの取組を推進。</p> <p><b>【青柳町会】</b>                      [役員会等]                      役員会への参加、意見交換                      [行事]                      チャリティバザー：令和5年6月11日、11月19日                      七夕まつり：令和5年7月7日                      [その他]                      ・無印良品などによる出張販売の視察                      ・TOPPANによるデジタルコンテンツ体験会への協力                      ・町会役員による町会行事開催に関する西部地区ニュースへの出演</p> <p><b>【弥生町会】</b>                      [役員会等]                      役員会や茶話会への参加、意見交換                      [行事]                      清掃活動：令和5年6月18日、8月20日、10月8日                      七夕祭り：令和5年7月7日                      ラジオ体操：令和5年7月27日～31日                      納涼祭：令和5年8月27日                      敬老祝賀会：令和5年10月8日                      クリスマス会：令和5年12月2日                      [その他]                      ・北海道函館西高等学校との連携に向けた意見交換会</p>	<p>1 モデル町会における町会活性化プロジェクトの試行実施</p> <p>谷地頭町会をモデル町会として選定。当該町会の活性化に向けて、課題テーマを設定し、役員会等を通して意見交換を行いながら、課題解決に向けた取組に協力するとともに、当該取組を西部地区の他の町会と共有することで、西部地区全域の活性化を図る。</p>